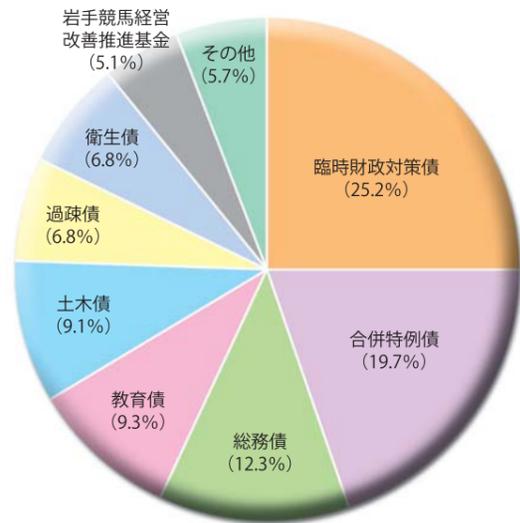


図2 借入金現在高見込み額の内訳(一般会計)



※臨時財政対策債、合併特例債、過疎債などは、後年度に地方交付税措置されるため、市の実質負担は少ない

図1 市税、借入金の市民の負担状況



世帯当たり共に昨年と同額になりました。

借入金は、長期にわたって使用される公共施設などを整備するためのものです。返済を長期間に分割することで、世代間の負担の公平性を保ち、年度間の財政負担を調整しています。

一般会計の借入金現在高見込み額は、必要な事業を着実に実施しながら借入額を抑えたことにより、昨年度より28

億円以上少ない831億3759万円になりました。市民1人当たり、1世帯当たりは直すと図1のようになります。昨年度と比較すると、市民1人当たりは1万円の減、1世帯当たりでは7万円の減となりました。目的別の構成比は図2のとおりです。

■問い合わせ先 本庁財政課 財政係(内線311・323・324)

財政の「今」を公表

26年度の当初予算は、広報おうしゅう4月号でお知らせしました。今回は25年度の収入支出、市有財産、市債の状況などを説明します。詳細は、本庁財政課、各総合支所総務

企画課、市ホームページで公表していますので、そちらをご覧ください。

今回お知らせする財政状況は、現金の未収や未払いの整理を行う出納整理期間(4月1日～5月31日)の分を含まないため、最終的な25年度決算額ではありません。決算額は確定後にお知らせします。

市税と借入金の状況

26年3月31日現在の市税収入(個人市民税、法人市民税

固定資産税、たばこ税など)の合計額は120億6801万円です。これを市民1人当たり、1世帯当たり直すと図1のようになります(26年3月31日現在の人口12万3004人、4万4069世帯で計算)。市民1人当たり、1

財政状況の公表

平成26年3月31日現在の財政状況を公表します。財政状況は年2回公表し、市の財政がどのように運営されているかを市民の皆さんにお知らせしています。

25年度一般会計、特別会計収入支出の状況

区分	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	637億9,294	543億3,958	508億1,860
特別会計			
国民健康保険(事業勘定)	136億4,456	120億1,443	119億6,378
国民健康保険(直営診療施設勘定)	9億5,920	4億6,298	8億9,920
後期高齢者医療	10億5,967	7億5,002	9億4,387
介護保険(保険事業勘定)	98億5,348	80億7,933	90億6,527
介護保険(介護サービス事業勘定)	3億4,043	2億77	3億1,097
簡易水道事業	14億7,216	6億3,572	11億6,988
下水道事業	38億6,633	14億4,835	36億2,484
農業集落排水事業	18億5,635	6億5,743	17億90
浄化槽事業	3億3,904	1億8,087	2億9,696
バス事業	9,765	2,248	8,966
米里財産区	1,253	1,252	725

市有財産の状況

土地	建物	車両など	基金・有価証券
7,758万723㎡	63万3,665㎡	592台	312億6,867万円

用語解説

- 臨時財政対策債＝国の地方交付税財源が不足した場合、地方交付税額を減らして、その穴埋めとして地方公共団体が借り入れるお金
- 合併特例債＝新市建設計画に基づいて行う事業に借り入れることができるお金
- 過疎債＝過疎地域自立促進特別法で定められた過疎地域(本市では江刺区)で行う事業にのみ借り入れることができるお金
- 岩手競馬経営改善推進基金＝県競馬組合に資金を貸し付けるための基金を設置する目的で、県から借り入れたお金
- 総務債＝主に庁舎建設、情報基盤の整備のために借り入れるお金(市が債務保証していた土地開発公社の債務を整理するために借り入れた「第三セクター等改革推進債」を含む)